

研究協力をお願い

昭和医科大学では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

投球障害肩における前上方関節内インピンジメント現象の病態と手術所見の検討

1. 研究の対象および研究対象期間

下記の①②③を満たす患者さんを対象にします。

- ① 2012年5月から2026年3月までに昭和医科大学藤が丘病院整形外科で投球障害に対して鏡視下肩関節手術を行ったのち、患者さんのうち昭和医科大学藤が丘病院、昭和医科大学藤が丘リハビリテーション病院整形外科で診察を受けていた患者さん。
- ② 上記①を満たす方のうち、手術前に肩関節屈曲内旋動作痛を有した患者さん。
- ③ 上記①を満たす方のうち、手術所見として肩関節内での衝突現象であるインピンジメント症候群が確認された患者さん。

2. 研究目的・方法

野球やハンドボール、水球、バドミントン、テニス、やりなげなどのオーバーヘッドアスリートに生じる投球障害についての新たな病態を研究する目的です。投球障害に伴って生じる肩痛ついて、これまでに肩関節外転外旋の際に肩の腱板と肩甲骨関節窩後上方が衝突する Posteriosuperior impingement (PSI) という関節内のインピンジメント（衝突現象）が報告されています。これに対して近年、肩関節屈曲内旋の際に腱板と関節窩前上方とが衝突する Anterosuperior impingement (ASI) が提唱されるようになってきていますが、ASI に関する報告は少なく詳細は明らかになっていません。本研究の目的はオーバーヘッドモーションの疼痛を主訴として、ASI と診断し関節鏡視下手術を行った症例の手術所見を調査することです。

2012年5月から2026年3月までに昭和医科大学藤が丘病院整形外科で肩屈曲内旋痛があり肩関節鏡視下手術を行ったオーバーヘッドアスリートの患者さんの診療録から、麻酔下での肩関節前方不安定性、患者背景（年齢、競技）、手術所見、可動域、疼痛スコア、復帰までの期間を調査項目とします。手術所見は術中に疼痛肢位にした際の関節内インピンジメント所見を調査します。疼痛や機能といった臨床成績をスコアリングします。

3. 研究期間

昭和医科大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから2027年3月31日まで

4. 研究に用いる試料・情報の種類

患者さんの診療録から

- ・ 麻酔下での肩関節前方不安定性
- ・ 患者背景（年齢、競技）
- ・ 可動域、疼痛スコア、復帰までの期間
- ・ 手術所見として屈曲内旋での関節内インピンジメント、外転外旋での関節内インピンジメント所見、損傷部位を調査します。

5. 外部への試料・情報の提供

該当いたしません。

6. 研究組織

研究責任者 昭和医科大学 保健医療学部 理学療法学科 西中 直也

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和医科大学 整形外科学講座

氏名：志賀研人

住所：東京都品川区旗の台1丁目5番8号

電話番号：03-3784-8543